

神奈川県立藤沢西高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

日 時： 令和6年6月24日 15:30～16:45

場 所： 大会議室

司 会： 藤岡副校長

記 録： 馬場 晃（学校管理グループ）

出 席（学校運営協議会委員）

稲川 由佳 永吉 寛行 植田 隆 大塚 真奈 笠原 信吾

松川 裕子 村松 絵理

松澤 直子校長

（学校関係者）

藤岡副校長 逸見教頭 望月事務長

石川 陽太 近藤 誠 小宮 信 三宅 智晴 田中 哉光 須田 敏弘

欠 席 小澤 明雄 原田 希和

<次 第>

1 委嘱状手交（校長より）

2 校長あいさつ

50周年記念・学校目標・分掌の変更について

3 学校職員及び運営委員の自己紹介

4 令和6年度学校運営協議会会長（兼議長）選出

会長に稲川 由佳委員、副会長に松澤直子校長を全会一致で承認。

5 協議

(1) 学校運営協議会運営体制について

学校設置部会（学校評価部会、教育活動支援部会、地域連携部会）について  
資料1・資料2のとおりで承認

(2) 令和6年度学校評価報告書（目標設定）について

①教育課程・学習指導（教務石川・研究企画近藤）

フォローアップ週間の充実、生徒の自主的な学びの支援  
DXハイスクール事業について、データの活用など

②生徒指導・生徒支援（生徒支援小宮）

身だしなみルールの再確認等、生徒自ら考え行動する意識涵養  
登下校等、日常からの交通安全に対する意識向上  
SC、SSW等、専門的知見のさらなる活用

体育祭、文化祭等、行事に対し、生徒の自主的取組のさらなる支援

③進路指導・支援（進路三宅）

卒業後のビジョンを考えるキャリア教育。自己肯定感と高い目標設定の意識  
他者と協働した学びの定着、社会との関わりの意識向上

④地域等との協働（広報田中）

地域との連携、地域行事への参加、本校の情報発信  
I C T機器やアプリを活用した外部に向けた情報発信

⑤学校管理・学校運営（学校管理須田）

安全・防災に対する意識涵養（自助・共助・公助）  
校内の環境整備の継続（PTA、生徒による花壇整備など）  
I C Tを利用したインフラ整備

⑥不祥事ゼロプログラム（副校長）

日常的に事故防止に努め、小さな気づきを、大きな事故に繋がらないよう防止策に  
組織的に取り組む。

(3)委員からの意見

○永吉委員

グラインドデザインの西高力「自らの課題を発見」が多くの場合で使われている。生徒の授業評価等に「自ら課題を発見できたか」の文言を加え、学校評価時の指標とすべきである。

○笹原委員

タブレット端末は、生徒全体でどの程度準備しているか。使用頻度はどのくらいか。  
不登校が増えているか。不登校の理由はなにか。

（小中からの）キャリアパスポートはどの程度活用されているか。

⇒（田中）3年30台、2年10台、1年5台、学校で貸与している。

⇒（石川）授業で端末の使用頻度は異なる。全く使わない授業はない。接続状況からスマホの方が利便性が高い。

⇒（小宮）不登校については、増加傾向はない。一定数いる。学校の雰囲気は馴染めない、人間関係の悩みが主な要因である。

⇒（三宅）キャリアパスポートは、入学時に持ってこさせている。1年生で目標設定をし、3年生で返却。

○村松委員

全く連絡が取れない不登校の生徒はいるか。

⇒（小宮）全く取れない生徒はいない。遅刻が多いなど生活が安定しない生徒の方が保護者に連絡が取りにくい。

○松川委員

授業や行事アンケートは保護者向けのものはあるのか

⇒（小宮）通常は取らない。3年生卒業前に、保護者向けのアンケートを行っている。

○植田委員

D Xハイスクールの具体的なものや方策は何か。

⇒（松澤）D Xハイスクールは国の事業。デジタル人材の育成・活用を目標に、データ処理能力の向上を図る取組。ハイスペックP C等の購入を計画している

○稲川委員

S C、S S Wの活用頻度は、どうか

⇒（小宮）予約の枠は大体埋まっている。今後はS C、S S Wの周知を進めたい。

令和6年度学校評価報告書（目標設定）について、全会一致で承認。議事終了。

## 6 事務連絡

第2回会議を、文化祭9月7日で予定。

第3回会議を、年度末で予定。学校関係者評価の実施。

以上